



## 平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成27年11月5日

上場会社名 株式会社中京医薬品 上場取引所 東  
 コード番号 4558 URL <http://www.chukyoiyakuhin.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 正行  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 辻村 誠 TEL 0569-29-0202  
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月14日 配当支払開始予定日 平成27年12月10日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第2四半期の業績（平成27年4月1日～平成27年9月30日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	2,890	1.8	21	—	30	—	5	—
27年3月期第2四半期	2,839	△11.3	△10	—	△3	—	△3	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	0.64	—
27年3月期第2四半期	△0.41	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	4,823	1,833	38.0	221.24
27年3月期	4,966	1,843	37.1	223.20

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 1,833百万円 27年3月期 1,843百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
28年3月期	—	2.50	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成28年3月期の業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,020	0.1	85	—	100	—	20	—	2.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	11,660,734株	27年3月期	11,660,734株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	3,374,880株	27年3月期	3,399,073株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	8,273,335株	27年3月期2Q	8,221,888株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による成長戦略に基づく経済対策や金融緩和による円安・株高が進行し、国内景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方では、消費税率増税による個人消費への影響の長期化や海外経済動向など、先行きについては、依然不透明な状況が続いております。

このような環境の中で、当社は「もっと健康、ずっと幸せ。」を企業スローガンとして定め、お客様が心身共に健康で幸せな社会生活を営むことに貢献し続けていくことを使命として捉え、より一層お客様に「健康」と「幸福」をお届けできる企業を目指すために邁進してまいりました。さらに、お客様本位の営業を徹底し営業効率の向上と販売費及び一般管理費の削減による財務基盤の強化にも取り組みました。

家庭医薬品等販売事業におきましては、効率的となった営業体制と強固な財務基盤を維持継続しつつ、中期経営計画に基づき利益を重視した新たな経営戦略を推進してまいりました。

またアクアマジック事業部で展開いたしております売水事業につきましては、今年4月に三重県の鈴鹿プラントが新たに本格稼働し、同敷地内にウォーターショップも開設しました。これにより製造設備が充実し、生産能力が向上すると共に営業拠点の拡充を図っております。また、ボトルのリターナブルによるTwo-Way方式の拡大に加え、ボトルの回収が不要なOne-Way方式においても注力し、全国展開による営業エリア拡大と顧客数の増加など事業拡大に努めました。

その結果、当第2四半期累計期間における売上高は2,890百万円(前年同期比1.8%増)、営業利益は21百万円(前年同期は営業損失10百万円)、経常利益は30百万円(前年同期は経常損失3百万円)、また地方税法改正に伴う法人住民税均等割の税率区分の基準の変更による法人住民税均等割の増加により四半期純利益は5百万円(前年同期は四半期純損失3百万円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ①家庭医薬品等販売事業(小売部門・卸売部門)

小売部門においては、消費税増税による消費への影響が長期化し、品目別においてもドリンクや保健品等の販売が減少しました。また、安定的な収益の確保を図るため、幅広く顧客のニーズを把握し新規販売の強化、向上を目的として4月に大幅な担当エリアの変更を行いました。一方顧客拡大を行うために上越営業所(新潟県)と久留米営業所(福岡県)の新規営業所を開設し営業基盤の拡大に努めました。

卸売部門においては、水素水などの飲料の販売活動に注力しスーパー等の量販店での販売数量が増加しました。また除菌消臭剤関連商品においては、「クイックシールド エアーマスク」「クイックシールド ポケット」が大手量販店やドラッグストア等で定番化され、9月から本格的に販売、出荷が始まりました。その結果、売上高は2,566百万円(前年同期比0.7%増)、セグメント利益23百万円(前年同期はセグメント損失29百万円)となりました。

#### ②売水事業部門

昨今の健康志向ブームによる飲料水へのこだわりと、拡大するミネラルウォーター宅配市場の成長の波に乗り、早期に中核事業の1つとして確立することを目指しております。またOne-Way方式により営業エリアが拡大され顧客への拡販も積極的に取り組みました。その結果、売上高は322百万円(前年同期比11.6%増)、セグメント損失2百万円(前年同期はセグメント利益18百万円)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産は2,306百万円となり、前事業年度末に比べ135百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金の減少163百万円、受取手形及び買掛金の増加44百万円によるものであります。固定資産は2,517百万円となり、前事業年度末に比べ7百万円減少いたしました。これは主に建物及び構築物の増加263百万円、有形固定資産のその他の減少302百万円によるものであります。

この結果、総資産は4,823百万円となり、前事業年度末に比べ143百万円減少いたしました。

#### (負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債は2,072百万円となり、前事業年度末に比べ6百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金の増加111百万円、短期借入金の増加60百万円および流動負債その他の減少167百万円によるものであります。固定負債は917百万円となり、前事業年度末に比べ125百万円減少いたしました。これは主に長期借入金の減少121百万円によるものであります。

この結果、負債合計は、2,990百万円となり、前事業年度末に比べ132百万円減少いたしました。

#### (純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産は1,833百万円となり、前事業年度末に比べ10百万円減少いたしました。これは主に利益剰余金の減少15百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は38.0%(前事業年度末は37.1%)、1株当たり純資産額は221.24円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の業績予想につきましては、平成27年10月23日付けにて発表しました業績予想からの変更はありません。詳細につきましては「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	969,362	805,754
受取手形及び売掛金	475,382	520,212
商品及び製品	335,102	359,024
委託商品	396,735	385,126
仕掛品	92	197
原材料及び貯蔵品	35,355	39,626
その他	234,815	201,453
貸倒引当金	△4,675	△4,934
流動資産合計	2,442,171	2,306,460
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	412,317	675,707
土地	1,303,487	1,303,487
その他(純額)	428,611	125,964
有形固定資産合計	2,144,416	2,105,159
無形固定資産	68,247	66,216
投資その他の資産		
前払年金費用	53,830	62,101
その他	262,687	288,177
貸倒引当金	△4,405	△4,426
投資その他の資産合計	312,112	345,852
固定資産合計	2,524,776	2,517,228
資産合計	4,966,947	4,823,688
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	398,035	509,594
短期借入金	790,000	850,000
1年内返済予定の長期借入金	173,976	201,008
未払法人税等	6,912	28,353
賞与引当金	158,030	120,930
返品引当金	29,892	7,978
その他	522,354	354,774
流動負債合計	2,079,200	2,072,639
固定負債		
長期借入金	595,998	474,387
退職給付引当金	134,634	136,928
資産除去債務	4,502	4,526
長期未払金	234,590	234,590
その他	74,055	67,473
固定負債合計	1,043,781	917,906
負債合計	3,122,981	2,990,545

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	681,012	681,012
資本剰余金	424,177	424,177
利益剰余金	1,747,239	1,731,719
自己株式	△1,020,561	△1,013,301
株主資本合計	1,831,868	1,823,608
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	12,097	9,534
評価・換算差額等合計	12,097	9,534
純資産合計	1,843,965	1,833,143
負債純資産合計	4,966,947	4,823,688

（2）四半期損益計算書  
（第2四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期累計期間 （自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日）	当第2四半期累計期間 （自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日）
売上高	2,839,154	2,890,969
売上原価	891,659	916,364
売上総利益	1,947,494	1,974,604
販売費及び一般管理費	1,958,083	1,953,453
営業利益又は営業損失（△）	△10,589	21,151
営業外収益		
受取利息	27	28
受取配当金	1,295	1,558
受取家賃	6,201	8,603
貸倒引当金戻入額	378	—
事故保険金	2,770	1,540
その他	2,252	1,245
営業外収益合計	12,925	12,975
営業外費用		
支払利息	4,258	3,724
支払手数料	1,108	71
その他	0	0
営業外費用合計	5,367	3,796
経常利益又は経常損失（△）	△3,030	30,330
特別利益		
投資有価証券売却益	—	6,487
特別利益合計	—	6,487
特別損失		
固定資産除売却損	—	28
リース解約損	—	156
特別損失合計	—	184
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失（△）	△3,030	36,633
法人税、住民税及び事業税	2,037	20,117
法人税等調整額	△1,709	11,203
法人税等合計	327	31,320
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△3,358	5,312

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益		36,633
又は税引前四半期純損失(△)	△3,030	
減価償却費	33,631	49,403
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,128	279
退職給付引当金の増減額(△は減少)	2,853	2,294
賞与引当金の増減額(△は減少)	△34,170	△37,100
リース解約損	—	156
受取利息及び受取配当金	△1,322	△1,586
支払利息	4,258	3,724
固定資産処分損益(△は益)	—	28
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△6,487
売上債権の増減額(△は増加)	110,795	△44,829
たな卸資産の増減額(△は増加)	△74,338	△16,687
仕入債務の増減額(△は減少)	△75,713	111,559
その他	37,197	△151,427
小計	△966	△54,038
利息及び配当金の受取額	1,265	1,528
利息の支払額	△4,272	△3,724
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	245	△2,035
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,728	△58,270
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△19,800	△25,005
定期預金の払戻による収入	19,200	19,200
有形固定資産の取得による支出	△155,186	△37,499
無形固定資産の取得による支出	—	△1,300
投資有価証券の売却による収入	—	20,533
その他	12,850	△20,478
投資活動によるキャッシュ・フロー	△142,935	△44,550
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	80,000	60,000
長期借入れによる収入	200,000	—
長期借入金の返済による支出	△58,333	△94,579
リース債務の返済による支出	△16,434	△18,440
自己株式の取得による支出	△68	△60
自己株式の売却による収入	7,848	7,141
配当金の支払額	△20,521	△20,654
財務活動によるキャッシュ・フロー	192,489	△66,592
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	45,825	△169,413
現金及び現金同等物の期首残高	661,137	801,351
現金及び現金同等物の四半期末残高	706,963	631,937

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期損益計算書計上額 (注) 2
	家庭医薬品等販売事業		売水事業部門	計		
	小売部門	卸売部門				
売上高						
外部顧客への売上高	2,256,951	290,904	288,749	2,836,604	2,549	2,839,154
計	2,256,951	290,904	288,749	2,836,604	2,549	2,839,154
セグメント利益 又は損失(△)	72,697	△102,163	18,877	△10,589	—	△10,589

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含んでいない事業セグメントであり、保険事業部門等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期損益計算書計上額 (注) 2
	家庭医薬品等販売事業		売水事業部門	計		
	小売部門	卸売部門				
売上高						
外部顧客への売上高	2,140,596	425,965	322,343	2,888,905	2,064	2,890,969
計	2,140,596	425,965	322,343	2,888,905	2,064	2,890,969
セグメント利益 又は損失(△)	6,433	17,323	△2,605	21,151	—	21,151

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含んでいない事業セグメントであり、保険事業部門等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。